

## ディスコグラフィー収載

### ディスコグラフィー【2018No.98】(HP 収載)

分類：MQA/UHQCD

作曲家：ドヴォルザーク他

曲名：チェロ協奏曲ロ短調作品 104 他

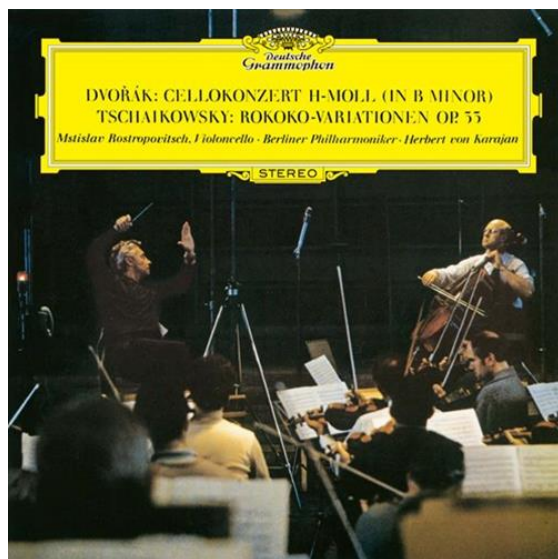
演奏：ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ (チェロ) ・ヘルベルト・フォン・カラヤン

指揮ベルリン・フィル

発売：Universal Music

No. : UCCG-40078

概要：



「亡くなくてもなお数多くの名盤でチェロ界の至宝として君臨し続けるロストロポーヴィチの最高の名演といわれる不朽の名盤。東西冷戦時代にベルリンを訪れ、カラヤンと録音を行なうという芸術だけでなく政治的なイベントとしての側面も持つドキュメント。(1968年録音/2012年マスター)

★オリジナル・テープから独 Emil Berliner Studio にて 2012 年に制作した DSD マスターを 352.8 kHz/24bit に変換して収録

★解説付

※本シリーズは当初、DSD マスターを 176.4kHz/24bit に変換して収録する予定で、商品の外装(帯)にもそのように表記していますが、制作段階において、より音質面でのアドバンテージが認められた、352.8 kHz/24bit での収録に変更させていただきました。」

録音年：1968年9月

録音場所：ベルリン、イエス・キリスト教会

収録曲：

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲 ロ短調 作品 104

第 1 楽章: Allegro

第 2 楽章: Adagio ma non troppo

第 3 楽章: Finale (Allegro moderato)

チャイコフスキー：ロココの主題による変奏曲 作品 33

主題: Moderato semplice

第 1 変奏: Tempo del Tema

第 2 変奏: Tempo del Tema

第 3 変奏: Andante sostenuto

第 4 変奏: Andante grazioso

第 5 変奏: Allegro moderato

第 6 変奏: Andante

第 7 変奏とコーダ: Allegro vivo

BrooklynDAC+の借用期間中であつたので、MQA-CDとして聴くことができました。ディスクグラフィー【2018No.93】から【2018No.96】で報告したMQA-CDは通常のCDとして聴いていましたが、やはりMQAのデコードで聴くと、音質面でメリットが出てきます。

演奏は、カラヤンの耽美的な指揮をバックに、ロストロポービッチが時に切なく、時に豪壮にロマンチズムを漂わせて演奏しています。

BrooklynDAC+の条件設定には不明の点もあり、機会があれば、十分に理解してから再度聴きなおしてみたいと思います。

以上